

緩和ケア病棟の登録をする前に ご覧ください

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
緩和ケアセンター

緩和ケア病棟の治療目標

- 病気そのものを治療して完治を目指す治療はしていません
- 病気によって生じたつらい症状を緩和することが治療の目標になります
- 本人が苦痛がどうかによって治療内容を調整します



例えば・・・

- 食事が摂れなくなってきた場合

点滴をして楽になる場合はよいですが、かえって息苦しさが出たりだるさが強くなったりする場合には、点滴を少なくしたり止めたりします

- 内服など薬剤の調整について

薬の副作用を考えて、本人の負担が増えないように薬を調整していきます



代理意思決定者を決めましょう①

- 代理意思決定者とは、本人に成り代わり本人だったらこうしてほしいだろうなということを代わりに代弁してくれる方を指します
- 痛みでとてもつらいとき、しんどくて考えられないということが起きても、自分の意思を医療従事者に伝えて相談してもらう人を決めておきましょう



代理意思決定者を決めましょう②

- 代理意思決定者になった方に、治療を決めてもらうということではありません
治療について最善だと思われることを考え、ご相談していきます
- 医療者の相談窓口になり、他のご家族と検討いただいてお返事を
いただけるようにしてくださると助かります



緩和ケア病棟での心肺蘇生の治療①

- あらかじめ、みなさんにお聞きしています
- ご家族にいわゆる延命治療をどこまでしてほしいかについて、身近な医療従事者と家族と話し合っておくことをお勧めしています
- 心臓が弱くなったときに、心臓マッサージをどうするか
- 息が弱くなったときに人工呼吸器をつけてほしいか



緩和ケア病棟での心肺蘇生の治療②

- 心臓や息が弱くなったときには、苦痛緩和を優先してつらくないように治療してもらい、自然な経過で様子を見てほしいか
- ご意見が途中で変わってもよいです
わからない場合には、医療従事者にお任せするということでも構いません



緩和ケア病棟に期待すること

- 緩和ケア病棟では、できるだけ家にいるような環境でリラックスして過ごしていただくことを目標としています。
- 入院されるときには、スタッフとは初めて会うことになるので、できるだけあなたのことを教えてください
ご家族からでも構いません
- してほしいことに加えてしてほしくないことについても、ぜひお聞かせください



緩和ケア病棟の環境

緩和ケア病棟では、家で過ごしている状況に近づけて過ごして頂くため、以下の点についてご了解ください

- 心電図モニターや酸素のモニターはつけずにご様子を見ます
- 意識が悪くなっても、手を縛るなど拘束具をできるだけ使用せずにご様子を見ます
- 危険なもの（刃物、はさみなど）以外は家で使われていたものを持ち込んでいただいて構いません
- 飲酒は本人がたしなむ程度にかぎり認めていますが、ご家族が飲酒することはお控えください
- ペットとの面会は、一定の条件のもと可能ですのでご相談ください



入院したいと考えたとき

- 訪問診療や訪問看護に、まずはご相談ください
- 患者さんやご家族から入院の依頼を直接お聞きしていません
- かかりつけ医や訪問看護師からの依頼でお引き受けしています
- 入院したいと思ったときには、まずはかかりつけ医または訪問看護師にご相談ください

